

まちの話題



今年も田植えをしたよ!

六月十五日、大宮小五年生三十四人が、美良布の学童農園で田植えを体験しました。

米がどのように栽培、生産されているかを学び、農業の大切さや役割を知り、興味を持ってもらおうと行われた体験授業で、子どもたちは、JA土佐香美青壮年部香北支部の方から説明を受けた後、にぎやかな声を上げながら水田に入り、約八町の水田にもち米の苗を手際よく植えていきました。指導をしてくれた地元の方々から「じょうとう、じょうとう」とほめてもらおうと、作業を楽しんだ児童



一列になって田植えをする大宮小児童（美良布の学童農園）

たちも得意そうな表情を浮かべていました

※この体験授業は、学校、JA土佐香美青壮年部香北支部、本田集落協定、香北町ボランティア協議会、JA土佐香美香北支所と香美市役所が連携し、総合的な学習の授業として実施されました。

◀真剣に取り組んだバケツリレー



地域の交流を深めた防災”七夕長屋“

土佐山田町の明治地域の自主防災組織が中心となった七夕祭りが六月三十日、原東の中井川沿いの広場で開催されました。

小島、古町、原東、原西の防災会と設立を準備する八王子の自治会が参加し、「七夕長屋」と題して開かれた祭りは、まず、子どもから大人まで

約四十人が参加したバケツリレー競争での消火訓練に始まり、その後、親睦会で、住民同士の交流を深めていきました。

原東防災会の石川祐一さんは、「祭りを通じて、地区や人のつながりができ、いざという時にそれが役に立つと思う」と祭りの盛況ぶりをよろこんでいました。

私たちの感覚で考える 男女共同参画

男女共同参画の社会づくりについて考える懇談会が、六月二十八日に物部支所で開かれました。

懇談会は、今年度中に策定が予定されている『香美市男女共同参画プラン』に市民の意見を反映させる機会として開催されたもので、プラン策定委員のほか一般の住民など三十二人が参加しました。

子育てネットワーク（ママはあと高知）代表の中平公哉さんから、男女共同参画について「身構えずに気楽に考えてほしい」とアドバイスを受けた参加者は、日ごろ身の回りで感じる男女共同参画について話し合いました。



身近で感じることを中心に話し合いました（物部支所）

繁藤診療所が再開

診察医が不在となり、今年三月から休診していた繁藤診療所が、七月から繁藤地区コミュニティセンター



北野先生(中央)とスタッフの皆さん

で再開されました。大杉中央病院の協力により、同院の北野英一副院長が診察を行うことになり、地元住民も「近くで診てもらえる所ができて便利になった」との診療所の再開を喜んでいました。

【繁藤診療所の開設日時】

・毎週水・金曜日(年未年始、祝日は休診)

・受付 14時～15時

【問い合わせ先】

健康づくり推進課

☎ 59-3151

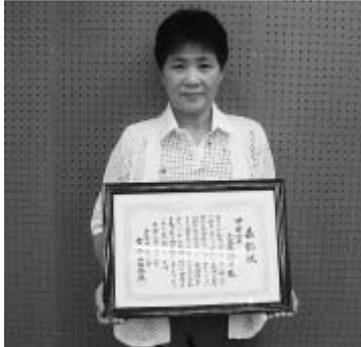
繁藤出張所

☎ 57-9329

小笠原園子さんに 功労賞を贈呈

土佐山田町体育会に顕著な功績のあった個人、団体を表彰する功労賞に小笠原園子さんが選ばれ、六月十五日、平成十九年度土佐山田町体育会総会で表彰状が贈られました。

小笠原さんは、土佐山田町体育会理事、香長支部審判長を長年にわたって務め、高知県家庭婦人バレー



▶小笠原園子さん

ボール連盟理事としても、審判の指導や競技の運営に携わるなど、生涯スポーツの普及と地域のスポーツ振興に貢献されました。

「ほつと平山」が オープン

旧平山小学校の校舎を利用した地域交流施設「ほつと平山」が、七月一日にオープンしました。

当日は、もち投げでオープンが祝われたほか、施設の一般披露も行われ、宿泊施設に生まれ変わったも、ロッカーや黒板など学校の面影が残る旧校舎を懐かしそうに眺める卒業生らも見られました。

同施設の地元運営委員会では、平山地域ならではの「真心をもって対応していきたい」と意気込みを語っていました。



もち投げでオープンを祝いました



祭壇に手を合わす参加者

犠牲者のめい福を祈り 繁藤災害慰霊祭

六十一人の尊い命を一瞬のうちに奪った昭和四十七年の繁藤災害から三十六年をむかえる『繁藤山くずれ殉職殉難者追悼慰霊祭』(祭主 西岡統一遺族会長)が七月五日、土佐山田町角茂谷の哀悼の広場で執り行われました。

遺族や消防、地元関係者ら約百人が参列し、犠牲となった肉親らのめい福を祈りました。西岡会長は参列者を前に「繁藤災害を知らない世代が増えつつありますが、多くの教訓を残したこの災害を風化させることなく語り継いでいきたい」とあいさつしました。

小学生が 生け花体験

「伝統文化いけばなことも教室」開講式が六月三十日に市立中央公民館で開かれ、小学一年から六年生まで四十二人が参加しました。

教室は、子どもたちに生け花のすばらしさ、楽しさを体験してもらおうと、文化庁の委託を受けて行われた事業で全十二回が予定されています。初日となったこの日、子どもたちは、小原流高知支部・山崎典子さんから四人の講師から生け花の基本を学んでいました。



楽しそうに生ける小学生